

# 地域ぐるみでの歴史的水路の保全・活用手法に関する調査

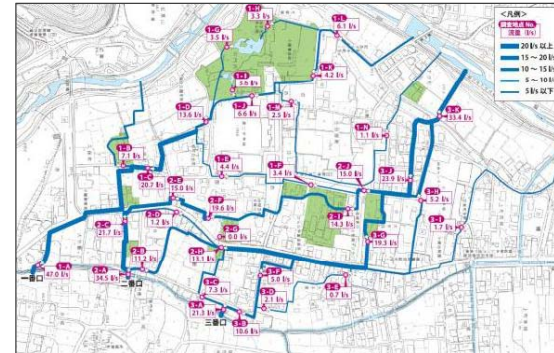
■調査実施地域:群馬県甘楽町 ■調査実施者:甘楽町

## <調査の目的>

歴史まちづくりの“中核的施設”である歴史的水路「雄川堰（小堰）」を対象とし、水路形状や流量、保存状態等に関する**悉皆調査**を実施するとともに、地域住民と有識者による**ワークショップ**を開催し、雄川堰の**保存・活用に向けての方策**を検討。さらに石積みの検証的補修を行い、雄川堰の歴史的価値や石積み補修の方法・手順等を紹介する**ガイドブック**を作成。

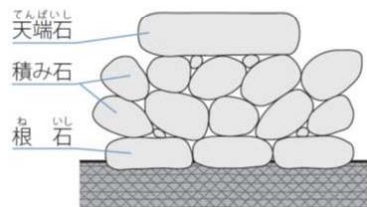
雄川堰を対象とした、これらの調査・検討のプロセス、および保存・活用方策等の成果を**今後の歴史的水路の保存・活用のモデル**として示す

## ○小堰の悉皆調査の実施

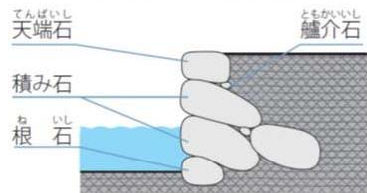


小堰の水路ネットワークの全容を解明  
 現在もほとんどの区間で水が流れており、高度な水路ネットワークを形成  
 現在も約4割の区間で昔ながらの空石積みの護岸石積み区間が多く残されていることが特徴

## ○石積み構造の検証



根石の上に「胴下げ」で積まれ、大きな天端石で全体を押さえる構造  
 高度な石工の技術が用いられていることが判明  
 ⇒石積み水路を保存していくための技術の継承、石工の育成が課題



小堰の石積み（立面図・断面図）

## ○ガイドブックの作成

アンケート結果⇒住民には小堰は当たり前存在  
 ⇒歴史的・文化的価値に対するPRが課題  
 ⇒小堰の価値や魅力を紹介するガイドブック作成



## ○保存・活用方策の検討

3つの方向性に基づく10の方策を設定

<方向性>

- ①小堰の保存・活用に向けた機運の醸成・体制づくり
- ②石積みの価値の検証と石積み技術の継承
- ③小堰の見える化・魅力向上のための環境整備

## <本調査で得られた知見・成果>

- 歴史的水路の保存・活用⇒水路全体の保存状況や、各区間の流量などの水路ネットワークの現状等をしっかりと調査・把握し、それを**分かりやすく図化して関係者間で共有することが重要**⇒本調査を通じて把握・図化した「各区間の流量図」などは、**水路のネットワーク状況を視覚的に理解する上で極めて有効なツール**
- 歴史的水路の保存・活用⇒地域住民が水路の歴史的・文化的価値に対する理解を深めることが重要⇒本調査で取りまとめた、**歴史的水路の価値や魅力を紹介するガイドブックは、このような地域住民の理解醸成に有効に活用可能**